

ここが聞きたい 



おおひらふみお
大平文雄

質問

回答

シルバー人材センターの法人化を

法人化を目指します

「福祉課長」

質問

「岐阜県シルバー人材センター連合会」という公益法人があります。岐阜県の自治体のうち、安八町のみが会員となっていない。

シルバー人材センター（以下センター）は、高齢者が働くことを通じて生きがいを得ると共に、地域社会の活性化に貢献する組織です。センターは定

年退職者などの高齢者にそのライフスタイルに合わせた「臨時的かつ短期的、またはその軽易な就業」を提供します。それと共に、ボランティア活動をはじめとする様々な社会参加を通じて高齢者の健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の福祉の向上と活性化に貢献するものです。

センターの仕事は「折衝・外交分野」「事務分野」「技術を必要とする分野」「屋内外の一般作業」「専門技術分野」「サービス分野」「管理分野」という多岐にわたっています。平成25年3月に刊行された「安八町おたがいさま計画」においても「センターの公益法人化」の設けが計画されています。現状ではシルバー事業は福祉課の事務の一部として取

り扱われていますが、組織的運用が必要と思われまます。そこで、高齢者の生きがいと地域の活性化のためにも、ぜひ「センター」の法人化を望みます。

センターは平成20年8月に立ち上げて、5年になろうとしています。県連合会へは加入しておらず、従前の高齢者能力活用協会と同様な町独自の方法で運営をしており、福祉課職員が仕事の受注、会員への依頼、現場確認、配分金の支払いなどの事務を行っています。

回答

シルバー人材センターは平成20年8月に立ち上げて、5年になろうとしています。県連合会へは加入しておらず、従前の

高齢者能力活用協会と同様な町独自の方法で運営をしており、福祉課職員が仕事の受注、会員への依頼、現場確認、配分金の支払いなどの事務を行っています。

請負業務は、草刈りや剪定等が中心です。登録会員数は現在102人で、平成24年度の受注件数は176件でした。実際に就労された方は会員のうち

3割ほどで、十分な就業活動の場を提供できていないのが現状です。今後の取り組み方向につきましては、来年度に向けて、まずはシルバー人材センター専従の職員を配置し、事務局を独立した組織として運営できるように、定款の作成や総会の開催など規定の体制を整えたいと考えています。

えた上で、県シルバー人材センター連合会に加入したいと思えます。加入することによって、助言や情報提供をいただき、幅広い事業の展開を図ることができまます。その後、一定の基準を満たしたのちに段階的に法人化への取り組みを目指したいと考えています。



公益社団法人岐阜県シルバー人材センターのパンフレット